



国東応援隊の二人(上平将義/左 越名秀樹/右)

国東応援隊

よろしくお願ひします

「トラクターを安く譲っていただけたら助かる…」と話していた。越名秀樹(写真/右)は愛知県長久手市出身。武蔵町池ノ内でも暮らしている。「来年家族が引越してくる、楽しいだ」と語る。長久手で長年やってきたデザイン事務所をやりながら何かを探している様子だった。

国東市に新しい仲間が誕生した。その名は「国東応援隊」。ケーブルテレビや市報でご存知の方もいるかもしれないが、正しくは「地域おこし協力隊」と言い、総務省の事業で都市圏から住民票を移し国東市へ移住してきたのだ。しかし、「地域おこし協力隊」と言ってもなじみがないため、今は「国東応援隊」と名乗っている。主な活動は市役所政策企画課で、空き家の調査をしている。上平将義(写真/左)は、さいたま市出身。家族4人と安岐町明治で農作業もしている。将来は「農業で食べて行くのが



不定期発刊

国東市役所 政策企画課
☎0978-72-5161
<http://web.city.kunisaki.oita.jp/>

ブログ掲載中

excite
<http://kunisaki2.exblog.jp/>

f <http://www.facebook.com/kunisaki.ouantai>

国東市内の使われていない家の有効活用を通して、UJ Iターンによる定住を促進し、集落の維持および地域の活性化を図ることを目的としています。この制度は、使われていない家の賃貸または売却を希望する所有者から情報提供を受け、空き家バンクに登録していただき、物件をホームページなどを利用して国東市に住みたい市外の空き家利用希望者(登録者)に紹介する制度です。

平成22年11月から始まり、今までに75件の物件が登録され、そのうち19件が空き家バンクにて成約し、約40人の移住者が国東市にて生活し

空き家バンクの現状

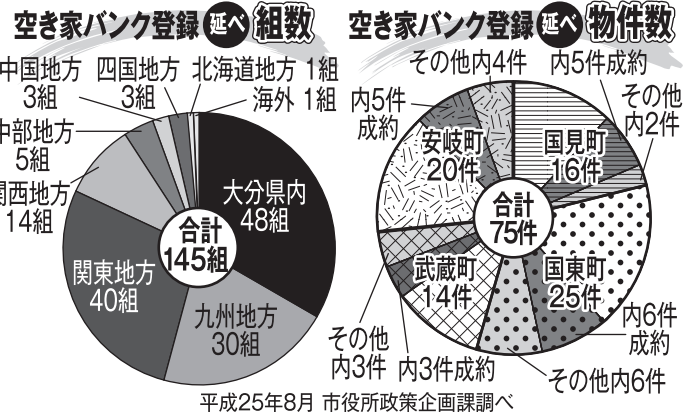
空き家バンクをご存知ですか?



飼犬のココちゃんと一緒に

新しくやってきました国東市民

今回ご紹介するのは、大阪から国東へ移住してきた矢部夫妻。国東町北江で家を借り、ペットブリーダーをしている。現在、犬約10匹、猫約20匹の飼育をしながら2か月後の出荷を目指している。矢部夫妻は、国東応援隊がお世話した最初のお客様。それだけに今後の活躍が楽しみだ。



国東市は年々人口が減少しており、空き家バンク制度ができた時の人口が32,665人で、今年7月現在の人口が31,181人と1,484人の減少となっています。少しでも歯止めをかけるために、使われていない家の空き家バンクへの登録をお願いし、市外の空き家利用希望者に利用していただけるよう情報を提供していきたいです。

市内で使われていない家をお持ちの方は、是非空き家バンクへご登録をお願いします。